

# 宮沢地区公民館だより



令和 5年12月1日  
発行：宮沢地区公民館  
電話・FAX22-0433

## 第11回 順徳上皇まつり

### 宮沢みんなの幸せとコロナ終息を

宮沢のロマン、地域のシンボルとなっている順徳上皇まつりが、10月29日（日）宮沢小学校の体育館で行われました。児童の学習発表会に続いて開催され、コロナの感染防止を考慮し、神事のみとなり約110名以上が参加しました。最初に歴史保存会の吉田会長より順徳上皇の説明を聞き、宮沢地域みんなの幸せと宮沢小の児童の益々の成長を祈願しました。石山実行委員長（代表区長）から、「順徳上皇まつり、第11回の開催となりました。地域みんなの幸せと宮沢小28人児童の発表成功に拍手を送ります。」とあいさつがありました。児童に順徳上皇伝説のリーフ、参加者全員に紅白もちを配り、お祝いしました。



## ひと針 ひと針 想いを込めて

### 【パッチワーク教室開講と研修会】

11月9日（木）開講式あいさつで、山口指導員から、「今日から、教室が始まります。市の文化祭の出展作品を見てきましたが、自宅でこんな作品を作っていたのか。色の使い方も工夫している。皆さん、努力している良い作品ばかりで上達しています。これから、楽しい企画と内容を考えますので、ご協力をお願いします」。鈴木公民館長は、「この教室が始まって23年になり今も続いています。何でこんなに長続きしているのか不思議です。多忙でせわしない日常の中で、パッチワーク教室は、友だちと会える豊かな時間であったり、一つのことに夢中になれる、真剣になれる時間ではないでしょうか。『一行三昧』。一つのことに専念して、精神を集中して心を安らかにすること、という意味です。これを皆さんは感じているのではないのでしょうか。」この教室は、毎週木曜日に2月まで計13回、宮沢地区公民館で開催されます。

11月16日（木）研修会で、酒田市の松山文化伝承館で開催中の「布と糸で織りなす母娘展」に18名参加した。菅原真理子先生（キルト作家）から韓国に出展した縦横約2メートル作品の説明を受け、「桜模様、日の丸をオリジナルでグラデーション表現が凄い」。世界的キルト作家の作品に驚いていた。

12月教室 7・14・21日（木）9～15時 [宮沢地区公民館]



年末年始のおうち時間を豊かに！

## そば打ち教室 参加者募集



- ・日時 12月13日（水）9：30～12：30
  - ・場所 宮沢地区公民館
  - ・定員 10名
  - ・会費 1,000円（材料代）
  - ・持物 エプロン・三角巾・マスク
- 申込締切 12月7日（木）まで  
宮沢地区公民館（22-0433）



## 光かがやく豪雪の中刈集落



【主催：中刈村づくり実行委員会】

雪と共生して明るい生活を営むため、中刈集落はイルミネーション点灯を今年も各家庭で実施します。

期間：12月上旬～令和6年2月中旬

### 【12月の行事予定】

日	内容
5日(火)	宮沢地区老人クラブ輪投げ大会 宮沢地区歴史保存会講演会
6日(水)	おきな茶屋・おたっしや教室
8日(金)	一人ぐらし高齢者宅弁当宅配
10日(日)	子ども育成会親子ケーキ作り
13日(水)	はなみずき ヨガ教室 そば打ち教室

※年末年始のお休みは12月29日～1月3日

### 宮沢地区の人口と世帯

(11/1現在) (前月比)  
男 790人 (+1)  
女 771人 (-2)  
計 1561人 (-1)  
世帯数 580世帯 (-1)



## 宮沢宝来吹矢隊募集!!

【活動目標】 参加してみませんか？  
吹矢を通じて交流し、免疫を高め、健康な身体を作ろう。

・令和5年12月～令和6年3月  
・毎週火曜日 13:30～15:30

12/5、12、19、26 宮沢地区公民館

・会費 1,000円

3月中旬吹矢大会を予定

### 【宮沢翁塾の企画】

12月20日（水） 幻酒翁山の販売開始

- ◆ベニバズおおさき ◆道の駅尾花沢「ねまる」
- ◆おばね産直館「はいっと」

22日（金）柏屋食堂 18時～21時

・寄席、柳家わさび師匠・「幻酒翁山」新酒発表会

### こどもからの贈りもの

「クリスマスカードで気持ちを贈ろう」

#### 【子ども育成会】

今年も残すところ僅かとなり、初雪の便りが聞こえてきます。子どもたちは、クリスマスや正月休みが待ち遠しい時期になりました。

子ども会の役員会を11月15日開催し、こどもからの贈りものを考えました。

お父さんやお母さんに「クリスマスカードで気持ちを贈ろう」。普段、子どもが、お父さんやお母さんと話している事は、学校や習い事、友だちのことテレビなど様々ですが、文字で表現して伝えることは少ないと思います。子どもの素直な気持ちをお父さんやお母さんに伝えることで、子どもの知らない側面を感じることができるのではないのでしょうか。子どもからお父さんやお母さんにプレゼントになると思い発案しました。

児童からお父さん、お母さんへクリスマスカード

1. 実施時期 12月クリスマスの頃

2. 内容 ・宮沢小学校のこども  
・安久戸のこども（小学生）



## 継続は力なり

～自分のペースで～



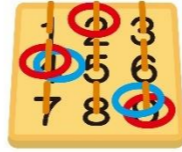
青少年健全育成市民集会在 11 月 12 日 (日) サルナートで開かれ、冬季北京五輪に男子バイアスロンで出場した本市出身の尾崎光輔さんが講演。自分の経験から、感謝することの大切さや、「遠回りしても大丈夫。他人に流されず、自分の可能性を信じよう。」と語りかけました。

## 市老人クラブ連合会 女性輪投げ大会の結果

11 月 8 日 (水) サルナート

### 【宮沢地区の成績】

- ・第 1 位 阿部ヤスさん  
パーフェクト賞も受賞 (丹生福寿会)
- ・第 2 位 黒山ヤエさん (丹生福寿会)
- ・第 5 位 高橋泰子さん (丹生福寿会)
- ・第 9 位 大貫キヨさん (中刈老人クラブ)



## 意見交換から地域づくり

### (宮沢地区区長会議の報告)

区長会議を 11 月 21 日 (火)、宮沢地区公民館で 1 時 30 分から 3 時 20 分まで開催した。

### 協議事項

#### 1. 新春を語る会の開催

- ・と き 2024 年 1 月 16 日 (火) 10 時～14 時 バス送迎あり
- ・ところ 徳良湖温泉「花笠の湯」 会費 5,000 円
- ・内 容 市長の新春講話と意見交換 (質問、意見など締切り 12 月 6 日まで)  
情報交換 (懇親会) ※ 12 月末に区長と各役員にご案内を発送します。



#### 2. 宮沢地区自主防災組織連絡協議会の設立

来年 4 月区長会総会に設立の議案を提案しますので、今回は (案) を説明して意見交換。  
**会則 (案)** 各集落の自主防災会組織相互の連携を強化し、地域防災力の向上、活性化、防災対策の推進を図るため、宮沢地区として連絡協議会を設立する。役員は、各区長が自主防災会の会長のため、区長会の役員が協議会の役員にあたる。

### その他

#### 1. 除雪ボランティア・三菱 HC キャピタルの受入れについて

- 市社会福祉協議会の除雪ボランティアセンターから受入れ依頼のあった集落を確認した。
- ・と き 2024 年 2 月 2 日 (金) ～3 日 (土) 約 35 名
- ・受入地区 中島・押切・市野々地区 (高齢者宅)

#### 2. 紙リサイクル (宮沢小・PTA 主催) について

毎年春と秋の 2 回、紙リサイクルを実施している中で、児童の減少に伴い課題があるため、宮沢小学校教頭先生が会議に出席して、色々ご相談と意見交換を行いました。

当面、3 年間は今後も連携して事業実施することを確認しました。

質問や意見	回答と今後の方向性
1. 回収金の売上金の使途	令和 3・4 年度の決算の提示。 環境整備費やスポーツ振興費、児童活動費、講師謝礼等支出
2. 実施日は仕事休みの時	今後、日曜日の実施を検討して調整したい
3. 実施時期を検討	春の早い段階と 9 月の稲刈り前の年 2 回で調整する
4. 作業のケガが心配	市の自治会保険を確認する。その結果、区長会総会の事業計画にあげる事で該当するので、区長会で検討する
5. 紙紐を配布し、協力を	ビニール使用はなくなった。買った場合、約 10 万円かかる。これまで通り各自負担で協力する事を確認した。

### 【宮沢小学校から】

#### (ア) 宮沢小学校閉校 (R9 年 3 月 31 日) 記念実行委員会について

今後の予定 R6 年度 組織の立上げ R7 年度 事業計画 R8 年度 事業の実施

#### (イ) 宮沢小の運動会実施時期 猛暑、熱中症予防のため、開催時期を検討中です。

## 宮沢と満州 (7) 農業開拓団移民 原田竹松さん (手記 1)

先に記したように関東軍が昭和 6 年満州事変を起し満州全域を支配し、翌 7 年には「満州国」が建国された。そして早くもこの年、日本政府と関東軍は満州に試験武装移民を送った。農業経験があり身体強壮な青年を在郷軍人が推薦した 500 名である。この第一次移民が何とか定着するので国は自信を得て第二次、第三次と送り、昭和 11 年には満州移民は国策として決定された。以後、担当行政機関拓務省が設置されて満州移民が本格化する。

第一次移民の中に中島の原田竹松さんが居た。原田さんの手記によると原田さん等は武装移民とは別の実習移民 70 名の中に居たようだ。

原田さんは明治 38 年農家の次男として生まれ、25 歳まで実家で農業を手伝っていたが昭和 5 年常盤村に婿養子に入る。だが離縁して、昭和 7 年満蒙開拓を志望して大高根道場(村山市)に入所する。2 週間の講習を受け、さらに茨城県内原の国民高等学校(加藤完治校長)で 1 ヶ月の実習をして、下関より乗船、朝鮮の釜山に上陸。鉄道で満州国奉天(現瀋陽)に 7 月 7 日到着する。

奉天城内の北大営は張学良が指揮する満州軍の拠点であったが、満州事変後は関東軍の施設となっていた。加藤完治は広大な北大営の一角を使用して満蒙開拓実習所を開所した。ここに先に記した武装移民 500 名と原田さん等実習生 70 名が加わり関東軍より武器弾薬が供与され、武装して北満に向かった。ハルピンより船で松花江を下りチャムス(佳木)に向かった。

船中で二昼夜を過ごしたが戦闘が続き関東軍兵士 5 名が戦死した。松花江の下流にあるチャムスは大都市である。ここの民家で越冬し翌春 2 月、さらに 11 里奥地の永豊鎮に移動した。ここに馬車で往復 4 日かけて必要物資を輸送し、昭和 8 年 3 月末全員現地に入植する。しかし、現地民と土地買収で同 9 年に暴動が起き、私たちの所にも匪賊が押し寄せて来たので籠城になった。その後軍隊が来て討伐平定したため大地主謝文頭は北方に逃亡した。この騒動で約 200 名が開拓団を退団した。(日本国民には未開地を開拓して入植者に与える、と宣伝していたが、実際は現地民の土地を安く買い上げての配分だった。)



(上) 黄色の点が開拓入植地



原田竹松さん



広大な満州で農作業

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

※公民館だよりは尾花沢市ホームページでもご覧になれます。(毎月 1 回更新)